

5 漁業災害補償関係勘定

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	30	リース債務(短期)	0
有価証券	1,730	引当金	
短期貸付金	4,106	賞与引当金	3
その他の流動資産	22	その他の流動負債	1
流動資産合計	5,887	流動負債合計	4
II 固定資産		II 固定負債	
1 有形固定資産		引当金	
建物	1	退職給付引当金	74
減価償却累計額	△ 0	固定負債合計	74
その他の有形固定資産	3	負債合計	78
減価償却累計額	△ 1	(純資産の部)	
有形固定資産合計	2	I 資本金	
2 無形固定資産	0	政府出資金	2,860
3 投資その他の資産		地方公共団体出資金	1,438
長期貸付金	200	民間出資金	1,523
敷金・保証金	1	資本金合計	5,821
投資その他の資産合計	201	II 利益剰余金	
固定資産合計	203	前中期目標期間繰越積立金	146
		積立金	43
		当期末処分利益	3
		(うち当期総利益)	(3)
		利益剰余金合計	192
		純資産合計	6,013
資産合計	6,091	負債純資産合計	6,091

1. 貸借対照表

- (1) 平成22年度末における資産総額は60億91百万円(5百万円増)である。
 主な内訳は、漁業共済団体に対する短期貸付金4.1億6百万円(5億48百万円増)、有価証券1.7億30百万円(5億40百万円減)である。
- (2) 負債総額は78百万円(3百万円増)である。
 主な内訳は、退職給付引当金74百万円(2百万円増)である。
- (3) 純資産総額は60億13百万円(3百万円増)である。
 主な内訳は、政府及び都道府県等からの出資金58億21百万円(増減なし)、利益剰余金1億92百万円(3百万円増)である。

2. 損益計算書

平成22年度の経常費用は53百万円(6百万円増)、経常収益は56百万円(11百万円減)で、この結果、当期総利益は3百万円(18百万円減)となった。
 これについては、積立金として整理する。

損益計算書

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	37	貸付事業収入	
直接業務費	0	貸付金利息	53
管理業務費	8	事業収入合計	53
賞与引当金繰入	3	財務収益	
退職給付引当金繰入	4	受取利息	0
減価償却費	1	有価証券利息	3
一般管理費合計	53	財務収益合計	3
財務費用	0	経常収益合計	56
経常費用合計	53		
経常利益	3		
当期純利益	3		
当期総利益	3		